



PROMARS PLUG-OUT Software Synthesizer

取扱説明書

はじめに

初めてご使用になるときは、セッティング(P.11)の MIDI Input/Output を設定してください。

お使いの DAW の設定については、DAW のヘルプや取扱説明書をお読みください。

本書では、SYSTEM-1 / SYSTEM-1m のことを「SYSTEM-1」と記載します。

この製品について

- ・製品の仕様や内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定(音色名など)と本文中の画面 上の設定は一致していないことがあります。あらかじめご了承ください。

商標について

- ・VST は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- Roland、PLUG-OUT、SCATTER は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商 標または商標です。
- ・文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。



画面の構成



メイン・ウィンドウ



メモリーとバンク

1. [PATCH] ボタンをクリックします。

Patch Select 画面が表示されます。



バンク

64 個のメモリーをまとめたものを「バンク」と呼び、バンクを 切り替えることで、数多くのメモリーを呼び出すことができます。 バンクはファイルとして保存することができます。



バンクを切り替える

1. バンク欄をクリックします。

バンク・リストが表示されます。

2. 呼び出したいバンクをクリックします。

バンク欄右側にある [▲] [▼] ボタンを押すと、1 つ前、1 つ後ろのバンクに切り替えるこ とができます。

バンクを書き出す

バンクをファイルに書き出します。

- **1. [SAVE] ボタンをクリックします**。 ファイル名入力画面が表示されます。
- 2. ファイル名を入力し、保存します。 ファイルが書き出されます。

バンクを読み込む

- **1. [LOAD] ボタンをクリックします**。 ファイル選択画面が表示されます。
- **2. ファイルを選択し、読み込みます**。 バンクが読み込まれます。

バンクを作成/削除する

バンクの作成

[NEW] ボタンをクリックすると、空の状態の新規バンクが作成されます。

バンクの削除

選択したバンクを削除します。

- 1.「バンクを切り替える」(P.5)の手順で、バンクを選択します。
- 2. [DELETE] ボタンをクリックします。 確認画面が表示されます。
- 3. [OK] をクリックして、削除します。

バンク名を変更する

- 1.「バンクを切り替える」(P.5)の手順で、バンクを選択します。
- 2. バンク欄左側にある ▶ をクリックします。
- 3. 名前を変更し、[Return (Enter)] キーを押します。

メモリー

PROMARS では、64 個のメモリーを1 バンクとして管理します。

メモリーを読み込む

バンクに登録してあるメモリーを読み込みます。メモリーを読み込むと、エディット・エリア に設定が表示され、エディットできるようになります。

- 1. 読み込むメモリーの番号をクリックします。
- 2. [READ] ボタンをクリックします。または [Return (Enter)] キーを押します。 メモリーが読み込まれます。 ※メモリー番号をダブルクリックして、メモリーを読み込むこともできます。

メモリーを保存する

エディットした音色を、メモリーとしてバンクに保存します。

- 1.保存するメモリーの番号をクリックします。
- **2. [WRITE] ボタンをクリックします**。 メモリーがバンクに保存されます。

メモリー名を変更する

- 1.名前を変更するメモリーの番号をクリックします。
- **2.** [RENAME] ボタンをクリックします。
- 3. 名前を変更します。(最大 16 文字)

メモリーの順番を変更する

メモリー番号をドラッグして、メモリーの順番を変更します。

キーボード・ショートカット

Patch Select 画面で使用できる、キーボード・ショートカットです。

+-	機能
Command (Ctrl) + B	バンクの切り替え
Command (Ctrl) + I	バンクの読み込み
Command (Ctrl) + E	バンクの書き出し
Command (Ctrl) + N	新規メモリー作成
Command (Ctrl) + O	メモリーの読み込み
Command (Ctrl) + S	メモリーの保存
Up/Down/Left/Right	メモリーの選択
Space	メモリー名変更
Command (Ctrl) + C	メモリーのコピー
Command (Ctrl) + V	メモリーの貼り付け
Delete *1	
delete ⊠ *2	メモリーの削除
fn + delete *2	
Return (Enter)	メモリーの読み込み
Command (Ctrl) + Z	Undo (取り消し)
Command (Ctrl) + Shift + Z	Redo(やり直し)
Command (Ctrl) + U	すべてのメモリーを SYSTEM-1 に転送
Esc	ウィンドウを閉じる

*1 Windows / *2 Mac

SYSTEM-1 で演奏する

SYSTEM-1 をパソコン (Mac / Windows) に接続すると、PROMARS と SYSTEM-1 を組み合わせて使うことができます。

Windows

MIDI ポートとして表示される[SYSTEM-1 CTRL]は、PROMARS が使用するポートです。 DAW からは使用しないでください。

プラグアウト

プラグアウトとは?

PROMARS をはじめとするソフトウェア・シンセサイザーを、 SYSTEM-1 に組み込んで使用することができる技術です。

- パソコンを使わずにSYSTEM-1単体で、PROMARSを演奏することができます。
- ・選択中のバンクの情報を SYSTEM-1 に転送することができます。
- ・SYSTEM-1 のつまみやスライダーを使って、音色をエディットすることができます。

プラグアウトの手順

1. [PLUG-OUT] ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

プログレス・バーが表示され、プラグアウト処理が始まります。およそ1分かかります。 ※すでにほかのソフトウェア・シンセサイザーが SYSTEM-1 にプラグアウトされている場合 は、確認メッセージが表示されます。続けるには、[OK] をクリックします。

メモリーのセンド/ゲット



1. SYSTEM-1 をパソコンと接続します。

2. SYSTEM-1 の MODEL [PLUG-OUT] ボタンをオンにします。

※メモリーをセンド/ゲットするには、あらかじめプラグアウト(P.8)しておく必要があります。

メモリー・センド

PROMARSの現在のメモリーを、SYSTEM-1 に送信して、SYSTEM-1 で鳴らすことができます。 音は SYSTEM-1の OUTPUT 端子から出力されます。

3. PROMARS の [SEND] ボタンをクリックします。 メモリーが送信されます。

メモリー・ゲット

プラグアウトした PROMARS のメモリーを SYSTEM-1 でエディットしたとき、そのメモリーを PROMARS に取り込むことができます。

3. PROMARS の [GET] ボタンをクリックします。

メモリーが取り込まれます。

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

- ・ MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.11)
- ・SYSTEM-1 とパソコンが接続されていますか?

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

- ・ MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.11)
- ・SYSTEM-1 とパソコンが接続されていますか?
- ・SYSTEM-1のMODEL [PLUG-OUT] ボタンはオンになっていますか?
- PROMARS が SYSTEM-1 にプラグアウトされていますか? (P.8)

SYSTEM-8 で演奏する

SYSTEM-8 をパソコン (Mac / Windows) に接続すると、PROMARS と SYSTEM-8 を 組み合わせて使うことができます。

Windows

MIDIポートとして表示される[SYSTEM-8 CTRL]は、PROMARSが使用するポートです。 DAW からは使用しないでください。

プラグアウト

プラグアウトとは?

PROMARS をはじめとするソフトウェア・シンセサイザーを、 SYSTEM-8 に組み込んで使用することができる技術です。

- パソコンを使わずにSYSTEM-8単体で、PROMARSを演奏 することができます。
- ・選択中のバンクの情報を SYSTEM-8 に転送することができます。
- ・SYSTEM-8のつまみやスライダーを使って、音色をエディットすることができます。

プラグアウトの手順

- **1.** [PLUG-OUT] ボタンをクリックします。
- SYSTEM-8の MODEL ボタンに対応する、PLUG-OUT 先(PLUG-OUT1~ PLUG-OUT3)を選びます。

確認メッセージが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

プログレス・バーが表示され、プラグアウト処理が始まります。 およそ1分かかります。

※ すでに PROMARS をいずれかの PLUG-OUT 先 (PLUG-OUT1 \sim PLUG-OUT3) にプラグアウトしてるときは、新たにプラグアウトすることはできません。

※すでにほかのソフトウェア・シンセサイザーが SYSTEM-8 にプラグアウトされているとき は、確認メッセージが表示されます。続けるには、[OK]をクリックします。

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

- ・ MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.11)
- ・SYSTEM-1 とパソコンが接続されていますか?

メモリーのセンド/ゲット

PROMARS の現在のメモリーは、PROMARS をプラグアウトした SYSTEM-8 に送信して SYSTEM-8 で鳴らしたり (メモリー・センド)、PROMARS をプラグアウトした SYSTEM-8 で エディットしたメモリーを PROMARS に取り込んだり (メモリー・ゲット) することができます。



- 1. SYSTEM-8 をパソコンと接続します。
- プラグアウト先の SYSTEM-8 の MODEL [PLUG-OUT1 ~ 3] ボタンをオンにします。

※メモリーをセンド/ゲットするには、あらかじめプラグアウトしておく必要があります。

メモリー・センド

3. PROMARS の [SEND] ボタンをクリックします。 メモリーが送信されます。

メモリー・ゲット

3. PROMARS の [GET] ボタンをクリックします。 メモリーが取り込まれます。

エラー・メッセージが表示される場合は、次の項目を確認してください。

- ・ MIDI ポートは正しく設定されていますか? (P.11)
- ・SYSTEM-1 とパソコンが接続されていますか?
- ・SYSTEM-1のMODEL [PLUG-OUT] ボタンはオンになっていますか?
- ・PROMARS が SYSTEM-1 にプラグアウトされていますか? (P.8)

PROMARS 操作対応表

PROMARS	SYSTEM-8	
DELAY/BEND		
DELAY TIME	LFO FADE TIME	
LFO BEND	LFO AMP	
LF	0	
WAVEFORM	LFO WAVE	
RATE	LFO RATE	
KEY TORIG	LFO KEY TRIG	
DUAL	. VCO	
RANGE	OSC 1 OCTAVE (FEET)	
MOD	LFO PITCH	
PW SOURCE	OSC 1 MOD	
PULS WIDTH	OSC 1 COLOR	
WAVE FORM	OSC 1 WAVE	
MD	XER	
VCO-1	MIXER OSC 1	
VCO-2	MIXER OSC 2	
NOISE	MIXER NOISE	
V	CF	
HPF CUTOFF FREQ	FILTER HPF CUTOFF	
LPF CUTOFF FREQ	FILTER CUTOFF	
LPF RES	FILTER RESO	
KYBD FOLLOW	FILTER KEY	
MOD	LFO FILTER	
ENVELOPE MOD	FILTER ENV	
ENVELOPE A	FILTER A	
ENVELOPE D	FILTER D	
ENVELOPE S	FILTER S	
ENVELOPE R	FILTER R	
V	CA	
ENVELOPE A	AMP A	
ENVELOPE D	AMP D	
ENVELOPE S	AMP S	
ENVELOPE R	AMP R	
TONE	AMP TONE	
CRUSHER	EFFECT DEPTH	
EFFE	ECTS	
REVERB	REVERB LEVEL	
DELAY	DELAY LEVEL	
DELAY TIME	DELAY TIME	
VCO 2	TUNE	
A-TUNE	OSC 2 COLOR	
B-TINE	OSC 2 FINE TUNE	

PROMARS	SYSTEM-8
TUNE ON/OFF	OSC 2 SYNC
TUNE A-B	OSC 2 RING
OTHER	
KEY ASGN	MONO



オプション

1. [OPTION] ボタンをクリックします。

MIXER 🗸	PROMARS Layout SYSTEM-1 Layout
	Zoom 100% Zoom 125% Zoom 150% Zoom 17% Zoom 200%
ARPEGGIO 10	Set MIDI Control Mapping for SYSTEM-1 Roland Cloud Authentication

2. 項目を選択します。

選択されている項目には、✓が表示されます。

項目	説明
PROMARS Layout SYSTEM-1 Layout	メイン・ウィンドウの操作子の配置を変更します。 PROMARS Layout: PROMARS (オリジナル)相当の配置にします。 SYSTEM-1 Layout: SYSTEM-1 と同じ配置にします。
Zoom	メイン・ウィンドウのサイズを変更します。
Set MIDI Control Map- ping for SYSTEM-1	SYSTEM-1 を、PROMARS のコントロール・サーフェスとして使用する ときに、チェックを入れます。ボタンやスライダーの MIDI マッピング 情報をまとめて設定します。
Activation	PROMARS のユーザ認証を行います。

セッティング

1. [SETTING] ボタンをクリックします。 Setting 画面が開きます。

※Flip Scroll Direction は Mac のみ。

MIDI CTRL Input: (none)
MIDI CTRL Output: (none)
Flip Scroll Direction: OFF

2. パラメーターを変更します。

パラメーター	説明
MIDI Input	SYSTEM-1 をお使いのとき
MIDI Output	「SYSTEM-1」(Mac OS)または「SYSTEM-1 CTRL」(Windows) を選びます。 SYSTEM-8 をお使いのとき 「SYSTEM-8 CTRL」を選びます。
Flip Scroll Direction (Mac のみ)	マウスのスクロール・ホイールで値を変更するときの、回転方向を反 転します。

3. [OK] ボタンをクリックします。

※変更は記憶されます。

※複数の PROMARS を起動したとき、すべてに適用されます。

SYSTEM-1 の設定

PROMARS(プラグイン)を SYSTEM-1 で鳴らす場合は、SYSTEM-1 を MIDI コントロー ラー・モードにします。 MIDI コントローラー・モードにすると、SYSTEM-1 内蔵の音源は 鳴らなくなり、PROMARS だけが鳴らせるようになります。 ※この設定は SYSTEM-1m にはありません。

1 SYSTEM-1 の電源を入れます。

MODEL [SYSTEM-1] ボタンと [PLUG-OUT] ボタンを押しながら、
SCATTER [TYPE] ダイヤルで、MIDI コントローラー・モードに設定します。



設定	説明
MIDI コントローラー・モード	SYSTEM-1 を、MIDI コントローラーとして使用するときに選択します。
	※鍵盤を押しても、SYSTEM-1 内蔵の音源は鳴りません。
	※MIDI を受信しても、SYSTEM-1 内蔵の音源は鳴りません。
ローカル・コントロール ON	SYSTEM-1 を単体で使用するときに選択します。(初期値)
ローカル・コントロール OFF	SYSTEM-1 を、DAW などと組み合わせて使用するときに選択し
	ます。
	※SYSTEM-1 単体では、鍵盤を押しても音は鳴りません。

SYSTEM-8の設定

DAW 上の PROMARS (プラグイン)を SYSTEM-8 で鳴らすときは、SYSTEM-8 のメニュー から「SYSTEM」→「SOUND」→「Local Sw」の設定を「SURFACE」にしてください。 SYSTEM-8 内蔵の音源は鳴らなくなり、PROMARS だけが鳴らせるようになります。 詳しくは、SYSTEM-8 リファレンス・マニュアルをご覧ください。



PROMARS は、1979年に発売された 2VCO モノフォニック・シンセサイザーです。

同時期に発売された JUPITER-4 の兄弟モデルで、太い音と作り出したサウンドを記憶 /呼び出しするコンピュ・メモリー機能により、ライブ演奏を重視したシンセサイザーと して、当時高い評価を得ました。

また PROMARS は、2VCO のモノフォニック・シンセサイザーとして設計されていましたが、2 つの VCO のピッチを微妙にずらすことで、ユニゾンのコーラス効果を得ることや、VCO にひとつずつ搭載されたサブ・オシレーターを加えて、4VCO シンセサイザーなみのサウンドを生み出すことができ、その重厚かつ粘りのあるサウンドは、プロ、アマ問わず愛されてきました。